

議会だより



あがまち

No. 75
2024.2

シリーズ大家族④

鹿瀬 波田野ファミリー

インタビューは22ページに掲載



○今号より
レイアウト刷新

- 議論白熱
- ・12月定例会議 2P
 - ・委員会レポート 4P
 - ・全員協議会 8P
 - ・特集(空屋対策の現状) 9P
- 新企画
- ・追跡(あの質問は なじよなったん?) ... 17P
 - ・地域と語る会 18P

●発行: 阿賀町議会 ☎0254-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川1580番地
●発行責任者: 議長 斎藤 秀雄
メールアドレス: gikai@town.ag.a.lg.jp



町HP議会ページ

令和5年度 一般会計補正予算

歳入歳出とともに3億430万円増
総額143億9560万円とする

補正予算

全世帯に5000円の
灯油等クーポン券配布へ

全世帯配布とした経緯

- 当初は、住民税非課税世帯のみへの配布案だったが、議案審議において全世帯配布を要望する意見が多くあったため、町長は補正予算案を撤回。
- 全世帯へクーポン券を配布する補正予算案が再提出され可決した。



全世帯に「灯油券」配布

一般会計 補正予算

【事業概要】

全世帯に町内で使用可能な「買い物クーポン券」9千円分を配布
子育て世帯には、同クーポン6千円分を追加配布

物価高騰対策生活支援特別事業 4400万円

灯油価格高騰緊急支援事業 2200万円

【事業概要】

全世帯に町内で使用可能な「灯油等クーポン券」5千円分を配布

低所得世帯に対する物価高騰支援
給付金給付事業

1億1350万円

住民税非課税世帯に7万円を現金支給（原則口座振込）

Q

灯油代が家計を圧迫している
世帯は、住民税非課税世帯だけではない。全世帯への考慮
が必要ではないのか。

Q

現金支給とした場合、灯油以外の購入や町外での使用を防ぐことができないがどう考えているのか。（撤回前は、現金支給を考えていた。）

8人の議員が同様な意見、質疑を行つた

12月
定例会議

12月定例会議が、12月12日から12月15日までの4日間開かれた。会議は令和5年度一般会計及び各特別会計補正予算計9件のほか、条例の一部改正など計18件の議案を審議し、可決された。

きりん荘運営費

270万円

一般会計
補正予算

一般観光費宣伝広告料

300万円

一般会計
補正予算

きりん荘運営費

270万円

【事業概要】

今夏の猛暑により冷暖房用燃料としているペレット材に不足が生じる見込みのための購入費



きりん荘

Q 木質ペレット工場の火災事故が原因で供給ができないと聞く。町外から購入した場合の単価は。

A 今までペレット単価は1kgあたり55円だったが、今後の購入分から町外から購入した場合60円（税別）となる。ひまわり保育園、津川及び上川小学校も木質ペレットを燃料としている。

水稻農家高温被害減収対策特別給付金 1100万円

一般会計
補正予算

地域おこし協力隊員招致事業 200万円

【事業概要】

阿賀の里に設置する子どもの遊び場の管理運営スタッフとして地域おこし協力隊員2名を令和6年2月から採用する。

【事業概要】

阿賀の里に設置する子どもの遊び場の管理運営スタッフとして地域おこし協力隊員2名を令和6年2月から採用する。

Q 支給の条件や金額は。また対象農家数は。

A 猛暑の影響により減収となつた農家へ給付金を支出す。

A 耕作地10アール当たり2千円を支給する。対象農家数は400戸。総面積は550ヘクタールである。

Q (その他、農業肥料高騰対策特別給付金が5月補正で水稻、畑作、畜産農家を対象に支給されることになっている。)

昨年は猛暑で米はほとんど2等米でしたので、この給付金は大変助かります。



九島区
斎藤 望さん



一般会計
補正予算

Q 300万円の支出内訳は。

A 新曲発売には約800万円の経費が必要であり、ポスター作製費、プロモーション作成費及びCD1000枚の買い取り費用である。



阿賀町PR大使

【事業概要】

阿賀町PR大使である永井みゆきさんが新曲を出すにあたり、阿賀町や磐越西線を盛り込み観光情報を発信してもらう。



改装工事中の子どもの遊び場

一般会計
補正予算

地域おこし協力隊員招致事業 200万円

【事業概要】

Q 2か月分の家賃として35万円が計上されているが、町営住宅などを利用し、経費を節約すべきではないか。

A 採用する協力隊員の要望も考慮し、どこの住宅とは限らないので高い家賃を設定している。経費は極力節減するように努める。

總文社厚常任委員會

委員長 五十嵐隆朗
副委員長 加藤 達也

委員 長谷川 智
長谷川 真

山口 庫幸 宮澤 直子
長谷川良子 入倉 政盛

総文社厚常任委員会では総務・町民生活・健康福祉・消防・教育委員会などに関する事務を調査します。

消防署本署・分遣所 視察

10月19日

目的 日出谷分遣所は築34年、三川分遣所は築49年が経過し建物および設備・備品の劣化が著しいということで、消防署の現状についての調査を行った。

概要 日出谷分遣所は最新型の消防車が入庫できない状況である。林に囲まれ、無線にも障害をきたしている。三川分遣所も適宜改修はしているとのことであったが、設備がかなり古くなっている。消防本部においては設備・環境が充実しており、ドローン操縦の様子も視察することができた。

まとめ 消防署職員は過酷な労働条件であるので、各分遣所のシャワー室・仮眠室の整備・改善を早急に行うことを強く要望する。



日出谷分遣所 消防車がギリギリの高さ

阿賀町郷土資料館 視察

10月 19日

現在2階までは主に縄文土器等が展示されている。阿賀町各地の民芸品も集まっている。今度どのように分類し、展示していくのかが課題である。



社会教育課阿部主任より詳しく説明を受けた

ブックカフェ風舟 視察 11月17日

11月17日

ブックカフェ風舟は、町内外の方々が集う
スペースとして必要な場所である。事業評
価をどのようにするかが課題である。



「NPO 法人かわみなと」西田理事長より稼働状況について説明を受ける

学校給食アレルギー 調査

11月17日

現代においてアレルギーも多様化し、給食においてもその対応に大変苦労している様子が伺えた。現状の給食センターは老朽化し、限界もあるため、早期の整備が必要



津川小学校で児童と共に給食をいただく
この日の献立はさつまいものカレーライス

その他の調査事項

11月17日 町内福祉施設の概要の説明を受け、また城山浄水場視察を行った。

今年度は新型コロナも終息し、町内外を調査・視察する機会が増えました。今号より委員会活動レポートのページが拡充しましたので、活動内容を詳しくお伝えします。

産業建設常任委員会では農林商工・観光・建設・上下水道などに関する事務を調査します。

委員長 斎藤 栄
副委員長 山口 康幸
委員 加藤 長谷川 智
宮澤 長谷川 真
直子 阿部 義照
石田 守家

産業建設常任委員会

長谷川 智 阿部 義照
長谷川 真 石田 守家

持倉鉱山(五十島区) 視察

10月12日

目的 11月に行う佐渡の世界遺産視察に向け、阿賀町の鉱山遺跡である持倉鉱山を視察し、現状の確認を行った。

概要 現在持倉鉱山は「持倉鉱山遺構を護る会」の活動により道路は整備されており、歩きやすくなっている。カラミ煉瓦※事務所跡の風情は当時の繁栄の状況を感じさせ魅力がある。草木の浸食と継ぎ目の劣化が随所に見られた。危険動物の対策も必要である。

まとめ 阿賀町に残存する鉱山遺跡を活用することにより交流人口の拡大を見込むことはできると考える。課題解決に向け関係者の尽力に期待し、議会もサポートしていくことが必要である。

※カラミ煉瓦とは

銅鉱石を製錬した後に残る残渣をカラミと呼び煉瓦に加工し建築材料として使用した。磐越西線のトンネルや豪商平田家の煉瓦壁にも使用された。カラミ煉瓦で作った建造物で2階建ては持倉鉱山事務所だけだと言われ、その遺跡は大変貴重である。



整備された持倉鉱山に向かう道路



持倉鉱山 貴重なカラミ煉瓦造り

「佐渡島の金山」視察 11月14日 新潟県庁にて県の取り組み調査 11月15日

目的 「佐渡島の金山」の価値と世界遺産登録の意義と実現に向けた取組及び観光誘客に向けた取り組みを聞き、阿賀町の鉱山遺跡への関連性を高める。

概要 佐渡市では「北沢浮遊選鉱場」「道遊の割戸」を視察後、「きらりうむ佐渡」にて佐渡金銀山遺跡の整備と管理状況、行政と民間団体の協力体制について説明を受けた。民間ボランティア団体が3団体活動を行っているとのこと。「きらりうむ佐渡」は世界遺産に向けて建てられた施設であり、説明後、館内の視察を行った。

県観光文化スポーツ部では県として世界遺産の意義と実現に向けた取り組み、観光誘客等について説明を受けた。

まとめ 阿賀町の鉱山遺跡を保存し、観光に活用するためには課題が多くあると感じた。遺跡の整備に加え、行政の関わりや観光施設としての整備も必要となってくる。



北沢浮遊選鉱場にて



きらりうむ佐渡にて説明を受ける

その他の調査事項

10月16日 新潟麦酒株式会社の稼働開始状況について、聞き取り調査を行った。

11月22日 町道赤倉小野ヶ原線災害復旧工事（豊実地内）の視察調査を行った。

広報広聴常任委員会

委員長 長谷川 真

副委員長 入倉 政盛

委員 加藤 達也

長谷川 智

山口 庫幸

宮澤 直子

議会だより74号編集作業

議会だよりはこんな風に作られています

- ①9月7日 74号記事構成および担当計画
- ②10月5日 提出原稿・写真・レイアウトの確認
- ③10月11日 誤字脱字等校正
- ④10月18日 読み合わせ校正・アドバイザーによる校正
- ⑤10月25日 最終チェック
- ⑥11月2日 全世帯配布日



議会だより編集会議 記事が集まる

新潟自治会館にて 広報研修会

9月29日



県内の町村議会の広報委員の皆さんに研修に参加

令和6年度の活動計画および 地域と語る会の計画

11月10日

今まで開催した地域と語る会を振り返り、来年度どのように開催するかを検討した。

- ①開催は年2回とし、1回目は5月下旬から6月上旬に地域に出向き、事前にリサーチを行う。
 - ②2回目は11月上旬に団体に向けて広報広聴委員が主体となり開催する。
- 詳細については、改めてお知らせする。

広報広聴常任委員会では主に議会だよりの編集作業、議会のユーチューブ配信、地域と語る会の開催などを企画します。

議会だより75号以降 の検討

11月2日

充実した議会だより作成のため、9月29日に参加した研修会や他市町村の議会だよりを参考にして検討を行い、今号より下記の点を改善することとした。

- ①一般質問のページを半ページにする
一般質問は文字が多く、読みにくいとのご意見があり、今号より半ページとした。詳しい内容を知りたい方には二次元コードからユーチューブ配信へ誘導する。
- ②委員会報告・全員協議会等議員の活動についてより詳しくページ数を増やし充実させる
一般質問のページが半分になった分、委員会活動や全員協議会の議論の内容など多様な情報を掲載する。
- ③特集ページは継続する
特集は町民の意見や関心の高い内容をピックアップして継続していく。
- ④議員の一般質問のその後の追跡ページを設ける
議会だよりモニターからの要望を実現する。
- ⑤表紙については新たなシリーズを企画する
今号でいったん大家族シリーズは終了し76号より新たな企画を検討中。

議会のひとコマ



タブレット操作に悪戦苦闘中！

阿賀町議会ユーチューブ 閲覧数情報

チャンネル登録者数 100

(1月23日現在)

6月定例会議
625回

9月定例会議
912回

12月定例会議
358回

(決算委員会含む)

議会だよりモニター情報交換会

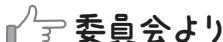
広報広聴常任委員会

11月21日開催
役場多目的ホールにて

議会だよりモニターの皆様には毎号議会だよりを読んでいただきアンケートにお答えいただいていますが、昨年より1年に1回、情報交換会を開催しています。今回も6名のモニターの皆様にお集まりいただき、ご意見を伺いました。その内容を抜粋したものをお知らせします。

問1 大家族シリーズの表紙はどうですか。

- ・大変よかったですの声が多数あります。
- ・地区名・名前を載せた方がよかったです。

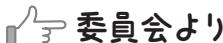


委員会より

今号で一区切りして別な企画を検討中。
個人情報の観点・協力者の希望も含め検討した
結果このように掲載しました。

問2 6月定例会議からユーチューブ配信を 開始（生中継は9月から）しましたが、 ご意見があればお聞かせください。

- ・町長や発言者が話すときはアップにしてほしい。
- ・スマホで聞くと音量が小さく聞き取りにくい。
- ・5時間は長い。聞いてもらうためにはピンポイントで分かりやすくした方がよい。
- ・傍聴に行かなくても聴かれるのは大変良い。
- ・若い人にとって議会中継が身近になってくる。



委員会より

定点カメラ2台のためアップなどの対応ができません。音量についても現状では改善が難しい。
ユーチューブの説明文に項目の見出しを入れました。

問3 一般質問のその後を追う「追跡」ペー ジの必要性についてどのように思われますか。

- ・絶対に必要。
- ・見出しにわかりやすい柔らかい言葉や方言を使ったらよい。



情報交換会の様子

問4 72号予算審査特別委員会・74号決算 審査特別委員会ではカード形式にして 事業名・金額・事業概要・写真・Q& Aをまとめました。この形式について どうでしようか。

- ・見やすく、わかりやすい。
- ・注目の事業の見出しなどあり注視しやすくよかったです。



委員会より

他市町村など参考にわかりやすく工夫しました。
今後のレイアウト等にもご意見をお願いします。

問5 特集記事ではどんな内容を取り上げて ほしいですか。

- ・空き家問題。まわりに空き家が多く、草刈も大変。10年後も住み続けられるのか。
- ・町の子育て支援内容を知らない若者が多い。
わかりやすく何度も発信してほしい。
- ・物価高騰や鳥獣対策。



委員会より

住民の皆さんのが関心のある身近な課題について
取り上げていきます。

問6 地域と語る会記事について

- ・号外の「地域おこし協力隊との地域と語る会」は本当によかったです。協力隊の皆さんには町に対して一生懸命活動している。
- ・地域と語る会では難しい問題こそ取り上げるべき。

議会だよりモニターさんの紹介(順不同)

- | | |
|----------|----------|
| ・二瓶美代子さん | ・長谷川潤子さん |
| ・清田 周さん | ・佐藤 美佳さん |
| ・増川 裕基さん | ・小野 宏さん |
| ・山口 博信さん | ・神田さかえさん |
| ・小野里雅史さん | |

※任期は2年間で令和6年12月までとなります

議会だよりについて率直なご意見をいただきありがとうございました。町民の皆さんにとって身近な議会だよりとなるよう今後もモニターの皆様にはご協力をお願いいたします。

全員協議会は議案審査、直面する課題等について全議員で協議・調整を行う場であり、行政や提出議案について理解を深める場にもなっています。主なものから抜粋して掲載します。

「子どもの遊び場」の運営

10月16日、12月7日

まちづくり観光課から、現在「子どもの遊び場」の設置工事は順調に進行しており、運営について以下の案で検討中であることが報告された。

- ◇運営は町直営とする。
- ◇一般的な公園と同様に保護者の責任において使用してもらう。
- ◇スタッフは、正職員1名、会計年度任用職員2名、地域おこし協力隊2名。
- ◇入場料は無料とする。
- ◇開館時間は午前10時から午後4時とし、休館日は火曜日とする。
- ◇遊具の使用は小学生以下とする。
- ◇集客目標は、令和6年度は5万人を見込む。
- ◇運営費は、年間約2860万円。



議員各位より以下の質疑がなされた。

- ◆スタッフの人数が多過ぎるのではないか。
- ◆保育所から帰ってからでも来れるように閉館時間をもう少し遅くできないか。
- ◆事故が起こることも想定して保険を掛けたほうが良い。入場者から保険料程度を徴収することはできないか。
- ◆入館できる最大人数は250名であるが、混雑した場合の対応は考えているか。

今回の議論を踏まえて引き続き検討する。

「木質バイオマス製造施設」で発生した火災

11月16日

農林課から、火災発生の経緯及び現状について説明がなされた。

本年8月30日に、「木質バイオマス製造施設」において火災が発生し、施設の一部が損傷したため工場の稼働ができない状態である。復旧すべく現在設備メーカーと協議を行っているが難航している。

議員質問 学校やきりん荘等、町内でペレットを使用している所のペレット調達は現在できているのか。

農林課答弁 在庫があり、他にも調達先がある。

議員質問 以前にも火災があったが、発生した場所は同じ場所か。

農林課答弁 以前と同じ場所であり、原因も同じであると考えている。



火災が発生した木質バイオマス製造施設

防犯カメラ付き広域Wi-Fi(ワイファイ)の整備

10月16日

総務課から、広域Wi-Fiの整備を備える防犯・防災カメラを町内の学校周辺及び水害が発生する地域に合計10基設置する計画について説明がなされた。本事業は総務省の情報通信技術利活用事業補助金及び県の防犯カメラ設置補助金を活用して行い、事業費は約3000万円である。

議員質問 Wi-Fiの届く範囲は。

総務課答弁 おおむね半径300メートルである。

議員質問 維持管理の経費はどのくらいか。

総務課答弁 年間120～150万円である。
この他に通信費がかかる。

小・中学校体育館の冷房設置

10月16日

学校教育課から、町内の小・中学校体育館に冷房設備を設置する事業について説明がなされた。概要は以下である。

- ◇近年の夏季の高温が著しい。
- ◇2年計画で実施する。
- ◇財源として阿賀津川中学校は断熱材が入っているので補助事業。その他の学校は断熱材が入っていないので町単独事業。

空き家対策の現状

空き家は今や全国的な社会問題となっているが、国としてもなかなか有効な対策が出来ていない。阿賀町では、令和3年度の調査において945軒の空き家を確認しており、今後も増え続けていくことが想定される。現在阿賀町で行われている空き家対策について紹介する。

町の取組み

空き家バンク制度

空き家の所有者と空き家利用希望者をつなぐ制度で、町が運営を行っている。(下記の登録件数等は令和5年12月末時点の数値である)。

登録件数：145件

(平成18年からの延べ件数)

成約件数：127件

(売買44件 賃貸45件 その他38件)

登録条件：

○住居・店舗・事務所

(小屋、土蔵等のみは不可)

○相続登記済み

○土地の境界線が確定

○仏壇などの家財道具が整理済み

登録方法：まちづくり観光課に相談して登録

※空き家が傷まないうちに、早めに登録すれば成約に至る可能性が高まるとのことである。

民間の取組み

古民家再生のケース

上川地区黒倉で昨年12月にオープンした宿泊施設「奥阿賀七名庵らくら」

民間のオーナーが、国の補助金制度を利用して古民家をリフォームし、最大12名の宿泊が可能な落ち着いた雰囲気の、1棟貸しの宿泊施設に生まれ変わっています。



らくら 室内の様子



空き家の解体を希望する方へ

空き家の解体については、まちづくり観光課が相談に応じて、複数の業者を紹介する。

議会の 視点

空き家は個人の所有であり、本来個人の責任において管理するべきである。しかし空き家が放置されることにより、町の景観が悪くなったり、動物が棲みついたりと、危険・犯罪・火災等のリスクが高まる。これらのことから、町の秩序が乱れることに繋がるため、今後も空き家の動向及びその対策に注視していかなければならない。

町政を問う

一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

P16

長谷川 良子

社会資本整備

P15

齋藤 秀雄

総合計画

P15

阿部 義照

Wi-Fi整備

P14

入倉 政盛

介護サービス

P14

斎藤 栄

農地地域計画

P13

長谷川 真

除雪費助成

P13

加藤 達也

子ども議会

P12

山口 庫幸

子どもの遊び場

P11

宮澤 直子

町の将来

P11

石田 守家

公金横領事案

P10

五十嵐 隆朗

消防分遣所

五十嵐 日出谷分遣所が築34年、三川分遣所は築49年たち、各分遣所の耐震性はなく、劣化が激しい。建て替えが整備が急務ではないか。上川分遣所は支所に移転した。日出谷分遣所は、周辺の林の木が大きくなり無線が入りにくく、建物が狭い。当麻地区国道459沿いに移転した方が良い。三川分遣所は水害時、阿賀野川の新しい堤防ができ、マキ沢の桶門により内水が溜まり、緊急車両は動けない。

新しい橋ができる吉津地区に移転した方が良い。それぞれ課題がある中で、急務は消防署の勤務環境で、トイレ、仮眠室、シャワー室等の充実と考える。

五十嵐 日出谷分遣所は築34年、三川分遣所は築49年たち、各分遣所の耐震性はなく、劣化が激しい。建て替えが整備が急務ではないか。上川分遣所は支所に移転した。日出谷分遣所は、周辺の林の木が大きくなり無線が入りにくく、建物が狭い。当麻地区国道459沿いに移転した方が良い。三川分遣所は水害時、阿賀野川の新しい堤防ができ、マキ沢の桶門により内水が溜まり、緊急車両は動けない。

五十嵐 多様性と言われる現在、阿賀町には女性消防士5名が勤務しているが、今後さらなる女性消防士の採用は考えているか。更に分遣所勤務は検討しているか。あるとすれば、現状の施設では不可能ではないか。環境を整

五十嵐 消防や救急体制の整備充実は、町民の命、安心安全を守るために極めて重要。現在は消防車や高規格救急車の計画的な更新に取り組んでいる。三川・日出谷分遣所は古く狭いが建て替えの計画はない。しかし、この広い阿賀町では分遣所は防災上の拠点の施設であるので、令和7年度からの第三次総合計画に消防分遣所を含む計画を具体的に検討する。



水害時には不安が残る三川分遣所一帯

町長 令和7年からの三次総合計画で積極的に検討する

えなければならない。

消防長 体制的には6

人がマックスで、採用

時に適正を見極めなが

ら進める。基本的に分

遣所勤務は、施設改修

が必要であるため考え

ていらない。

町長 臨時着陸場が24

力所、防災対応が5力

所確保している。改修

が必要なので新年度予

算に盛り込む。

五十嵐 ヘリポートの

修繕を急げ。

町長 消防や救急体制の整備充実は、町民の命、安心安全を守るために極めて重要。現在は消防車や高規格救急車の計画的な更新に取り組んでいる。三川・日出谷分遣所は古く狭いが建て替えの計画はない。しかし、この広い阿賀町では分遣所は防災上の拠点の施設であるので、令和7年度からの第三次総合計画に消防分遣所を含む計画を具体的に検討する。



五十嵐 隆朗



動画の視聴は
こちら

公金横領事案の早期解決を

町長 刑事告訴で事実解明していく



石田守家



動画の視聴は
こちら

石田 職員の公金着服
事案は訴訟で争えば業
務横領罪が想定される。
横領金は全額返還され
れ懲戒免職も受けてい
る。町にも管理責任が
ある。是と非はいずれ
にある。1年以上の
捜査期間が想定される
ので、早急に和解・告
訴の取下げも検討する
のか。

町長 事件解明には津
川署が手続きをし司法
判断が必要。担当課、
町長の監督責任もある
が、事案解決を正確に
進める。告訴の取下げ
は考えていない。

石田 株阿賀の里は累
積負債で混迷してきた
が、現在改修中の子ど
もの遊び場との事業連
携で利益を令和5年度
の12%増を見込む。

町長 将来、新たな阿賀の
里として魅力のある経
営改善と道の駅を目指
して行く。

石田 株阿賀の里に対
し今後町からの救済案
もあるのか。また、道
の駅阿賀の里運営への
阿賀町商工会の参画は
できないのか。神田町
長の政策判断が重要だ。

石田 株阿賀の里は、
累積負債約3億600
0円以上ある。この
まま続けるのか。続け

町長 株阿賀の里現
状で続けるなら、町か



商工会の参画も望まれる

るなら改善計画を作成
し、議会との協議も要
する。道の駅阿賀の里
と事業連携するとした
が、長期返済含めた株
阿賀の里の構想計画の
提出を。

らの救済策は慎重にし
なければならない。道
の駅阿賀の里への町商
工会の参画や協議検討
などは、隨時町民へ周
知していく。

10年後の阿賀町に住める のかという不安に回答を

町長 課題を前に進めつつ新たな取り組みを行う



宮澤直子



動画の視聴は
こちら

宮澤 空き家が増え、
若者が町を離れ、鳥獣
が増え、町民から阿賀
町に住み続けることが
できるのかとの不安の
声を聞く。

町長 現状なかなか形
に表れていないが、企
業誘致はじめ、様々な
政策に取り組んでいる。

宮澤 先般開催の福祉
大会で「小規模多機能
自治」について講演を
受けた。これは地域住
民ひとりひとりが主体
となり、地域課題を解
決していくというやり
方で、概ね旧小学校区
・民生委員・PTA・
老人クラブなどが協力
して地域の課題に取り
組んでいく。阿賀町で
これを行なうのがこれ
を進められないか。

町長 まずは事例を研
究していくことが必要。

宮澤 保護者の方から
子どもの遊べる公園や
B&G、プール、図書
館などをまとめたマツ

子育てマップの作成と
学校の遊具の充実を



三川小学校にはジャングルジムが設置

宮澤 見附市では類似
の事業として「コミュニ
ティ事業」が実施さ
れており、小学校区を
拠点として11団体が活
動している。団体のセ
ンター長は集落支援員
の制度を活用し、町が
活動に資金援助してい
る。ワゴン車も1台ず
つ貸出し、地域の活動
や高齢者の送迎等に活
用している。阿賀町で
もまずは町が主体とな
りこの制度を進めてい
くことはできないか。
町長 この取り組みは
一つの有効な手段であ
ると考えるが、町に合
ったやり方を考えてい
く。

教育長 事故防止や安
全管理の観点から積極
的な設置は行っている
が、要望を聞きなが
らそのつど判断してい
く。

教育長 事故防止や安
全管理の観点から積極
的な設置は行っている
が、要望を聞きなが
らそのつど判断してい
く。

町長 公園の遊具が撤
去されているが、小学
校の遊具を増やせない
か。

除雪費助成の充実を



長谷川 真



動画の視聴は
こちら

町長 民生委員に相談を

長谷川 町には「要援護世帯除雪費助成事業」

の制度がある。過去3年間で除雪費の助成を受けた世帯数と利用回数は。

町長 令和2年度は41世帯43回、令和3年度は37世帯39回、令和4年度は26世帯30回である。

たら少ない。

か。

長谷川 私の近所でも助成金はもらいたいが、申請手続きが面倒、申請書をもらいに支所まで行くのが大変で助成申請をしていない世帯が多い。助成対象条件も緩和し、さらに利用しやすい制度にできなかいか。

町長 この制度について、まずは要援護世帯ということで、地元の民生委員が気配りしている世帯とも重なるので、民生委員に相談してほしい。民生委員会議でも毎年この制度と、申請手続きの説明をしている。

長谷川 2020年の国勢調査では阿賀町の高齢者単身世帯が90戸以上在り、住民税非課税世帯も160戸ほどある中でこの数字は多いのか少ないのか。

町長 この制度は4町村の合併以前からあつたが、要件がかなり厳しいということで徐々に改正してきた。要件を全面改正し、令和3年に基準額の1.4倍、令和5年1.5倍まで引き上げた。

長谷川 助成金の申請手続きなどでも除雪業者などが申請を行うなどの簡略化ができない



高齢者に危険な雪下し作業

町長 高齢者単身世帯の900を分母にすれば少ない。

町で雪の降る阿賀町であり、さらに豪雪地域にも相当の世帯数がある中で、全体を見

町長 森林施業状況等を勘案して優先順を決定する



長谷川 智



動画の視聴は
こちら

光につながる林道をしつかりと整備出来ないか。

三川分遣所の整備を

長谷川 町民の命と財産を守る仕事。年間300回の救急出動、1年3分の1は泊まり勤務に対し快適な環境とは言えない。

長谷川 新たな総合計画策定時にしっかりと検討していく。

町長 素晴らしい眺望の場所が阿賀町の林道の中に相当数あることは認識しているが、林道の維持管理の一番の目的は林業の活性化である。豊富な森林資源と林道も生かした施策も進めしていく。

長谷川 林道日出谷八ツ田線の道路中央付近に大きな石が転がっていたが管理体制は。

町長 現在管理する林道は総延長約333kmになる。維持管理作業は、森林の施業状況、交通量等を勘案して優先順位を決めている。

長谷川 狐の嫁入り行列や阿賀の里リニューアルにより今後の交流人口拡大が期待出来る

今のタイミングで、観



林道から見える景色

定し高規格道路に改良する事が望ましい。

長谷川 助成金の申請手続きなどでも除雪業者などが申請を行うなどの簡略化ができない

(13) あがまち議会だより

農地地域計画は農業振興に生かして



斎藤 栄



動画の視聴は
こちら

町長 町農業の将来を見据えた計画策定をする

斎藤 今年から2ヵ年で進めている地域計画の策定については、町の独自性を持った計画にしてほしい。

耕作放棄地や有害鳥獣対策、担い手対策を含めた持続可能な地域計画の策定を進めてほしい。

町長 農家のアンケート調査結果を基に阿賀町の農業の将来を見据えた計画策定を行う。県の指導を受けながら農地の有効活用と害獣対策を同時に進めていく。Aや町内農業の方々から協力を得て、就農・営農に関しては町と地域が実施している。農地の供与の円滑化にも繋げていく。

就労人口の増加策

斎藤 阿賀町では、高校・大学等の進学を機会に町を離れてから、町に戻らない状況が続

いており、町に多種な産業構造が集積していないものもあるが、山間部だからでは済まない。

斎藤 水稲中心の農業では中山間地での営農継続に限りがある。水稻主業から特産物耕作を含めた園芸と併業農業で収益を上げる農業施策も必要である。反収の高い耕作品目と合わせ販促施策も同時に進めてほしい。

斎藤 水稲は、モンドセレクション受賞で販促施策としている。反収の高い園芸についても複合的に実施できるよう指導している。高単価な栽培についても、選択して自らの意志で決め経営できるよう指導していく。

農林課長 水稲は、モンドセレクション受賞で販促施策としている。反収の高い園芸についても複合的に実施できるよう指導している。高単価な栽培についても、選択して自らの意志で決め経営できるよう指導していく。

斎藤 人口を増やしていく自治体もある、先進地の取り組み情報を常につかみ調査研究し新たな発想に繋げていく。町の組織では、所管課に加え政策推進班が進めていく。

斎藤 受領委任払いを採用する場合、メリットがあるので新年度から選択できるように取り組む。



除雪費の拡充を

町長 新年度から改善する

入倉 介護保険利用者が福祉用具の購入や住宅を改修するとその費用の一部が保険給付の対象になる。この費用は原則「償還払い」となるため、一旦全額支払う必要がある。

このため利用者はかかる費用の1割から

3割を事業者に支払い、残りの費用は利用者の委任に基づいて保険者が登録事業者に支払う「受領委任払い」を導入する考えはない。

斎藤 市町村の国民健康保険基金を使って保険税の引き下げは出来ないか。県は、「基金を有効活用することは町村の判断」としつつ、

「保険税を見直す。具体的には下げる傾向もありうると伝えている」

ことを明らかにした。この通知に基づいて今後の国保税の在り方を検討しているのか。

町長 新年度に向けての予算編成を行う。保険税を上げるよりも据え置きながら、県内全体の水準統一に対応できるよう取り組んで行く。



入倉政盛



動画の視聴は
こちら

介護サービス利用の改善を

きないか。県は灯油代助成を非課税世帯にも対象を広げてきた。国の経済対策も発表されおり、県として必要な対策を12月補正予算編成の中で検討しているのか。

阿賀町の観光発信に Wi-Fiの設置を



阿部義照



動画の視聴は
こちら

町長

ストレスのない通信環境整備を今後検討

阿部

「狐の嫁入り行列」など多くの観光客が来町する野外イベントに対し、臨時のWi-Fiを設置し観光客が通信制限を気にせずSNS等で多くの人に発信できるよう対応を検討しては。

町長 一力所に多くのお客様が集まるところに設置すると、その容量を超えて接続できない状況やつながりにくい状況の懸念がある。今後、機器の性能の向上が図られてくると思うことから、ストレスのない通信環境整備は積極的に進めていかなければならぬ。

勤怠管理システムを

勤怠管理システムを

勤怠管理システムを

勤怠管理システムを

勤怠管理システムを

阿部 職員の出勤や退

勤怠管理システムを

勤怠管理システムを

勤怠管理システムを

勤怠管理システムを

勤怠管理システムを

町長 勤怠管理のシステム導入は今検討している。町が使っている人事給与システムと連携することが必須となつてくる。今の試算だとかなり費用がかかってくることから今後の検討課題としている。

職員派遣は

町長 町の業務もこれまでと質の違う仕事が増えてきているところもある。研修や人事交流等は積極的に取り組んで行くよう検討する。



狐の嫁入り行列の風景

齋藤 総合計画の検証基準は在るのか。第三次計画策定委員選任は、女性委員を半数以上、若者中心に構成すべきではないか。町長の考えを伺う。次に合併協定にある水道料金統一である。

津川と三川地区の超過使用料金に1.6倍差がある、早急に統一すべきでは。

町長 現在、総合計画検証は第二次総合計画審議会委員にお願いしている。令和6年度策定の第三次総合計画策定審議会には幅広く人選する。水道超過使用料統一に向けて計画立案するよう指示する。

町長 第三次総合計画で将来ビジョンを示す

遊休施設管理

公園管理体制

齋藤 遊休施設維持管理計画は町条例を有効活用して大胆な施策をすべきだ。

町長 老朽化施設は除却も含め検討している。日常管理は総務課で行つては認識不足だったのを改めて協議・検討し、対応していく。

町長 各地区要望により老木化した桜は倒木の危険もあり伐採処理をした。桜を含め、花によるまちづくり、地域づくりを推進する。

今後は伐採後の公園管理は各地区と連携協議する。観光資源にするように、桜などの記念植樹は積極的に検討していく。

将来ビジョンと総合計画



齋藤秀雄



動画の視聴は
こちら



総合計画審議会

町長 各地区要望により老木化した桜は倒木の危険もあり伐採処理をした。桜を含め、花によるまちづくり、地域づくりを推進する。

今後は伐採後の公園管理は各地区と連携協議する。観光資源にするように、桜などの記念植樹は積極的に検討していく。

国・県が「地域の活力を後押しする社会資本の整備について」これを契機に舟下りを

町長
新潟県・国土交通省北陸地方整備局・河川の整備をお願いする
(川は一級河川)

長谷川 良子



長谷川良子



動画の視聴は
こちら

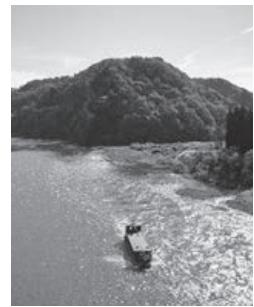
長谷川 「国・県は地域経済のため後押をする」阿賀町の観光スポットには①三川きのこ園②赤湯温泉③阿賀野川舟下りと令和5年11月1日きつねの嫁入り屋敷で新潟県土木部長が表紙に載せて出席者に配布した。私は直接土木部長に「昔のようないがしま橋付近に砂利など堆積物があり舟が上下できないでいる。いがしま国道側の河床掘削をし舟が通れる様にしてください」とお願いした。土木部長はその事は知っていた津川所長に話をすると。と言つたので阿賀町からも国と県に要望を出してください。そして、私は旧上川村の広瀬です。昭和43年水害で一

長谷川 日出谷分遣所は、修理・立て替えが必要

戸は流失17戸が水害の被害を受けた。その後、堤防が出来たが上流から堆積物がたまり河床の掘削して必要で私は津川土木事務所に行つて何回もお願いしました。又上流に一力所砂防ダムがあるが、まだ必要ですので作つてください」と土木部長に言いました。

長谷川 日出谷分遣所は、修理・立て替えが必要

長谷川 県と国土交通省北陸地方整備局にお願いして河川の整備を進めて行く。



消防三川分遣所・日出谷分遣所は、修理・立て替えが必要

それで困難があるので修理が立て替えが必要。津川消防署脇にある防災ヘリコプター・ドクターヘリがホバリングする時に砂利などが飛んで軽トラック一台分位が集められている。その時、囲りでいる人などがぶつかると二次被害が出るのですぐに砂利など飛び散らないようにセメン舗装が必要日出谷分遣所は34年経過。三川分遣所は49年経過している。令和6年度の総合計画が阿賀町にとつて明るくなるような町づくりにお願いしたい。

阿賀町議会の様子を インターネットにより配信中！

アクセス方法

チャンネル登録をお願いします

(1) 二次元コードから
ユーチューブ
阿賀町議会チャンネル



(2) 検索サイトから

阿賀町議会ユーチューブ

検索



あの質問は なじよなったん?

議員が行っている質問や提言が、町政にどのように反映されているのか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

新企画

追跡レポート

持倉鉱山遺構を観光資源に



補修前 ハシゴを使うような険しい道



補修後 持倉鉱山まで平坦な道路になった

その後

町からの補助金により「持倉鉱山遺構を護る会」が現地までの道路を令和5年に補修した。

回答

文化財や産業遺構として地元の方と検討を行い、方策を考えていく。

2021年6月
一般質問

持倉鉱山跡の文化財登録や道路の補修について、その後の検討は。



質問前 2名体制

5名体制になり、充実した運営ができるようになりました



現在 5名体制で運営

その後

令和5年度より新たな塾長を含めた5名体制となつた。

回答

協力隊だけでなく、包括連携協定を結んでいる大学へ協力のお願いを検討している。

2022年6月
一般質問

黎明学舎スタッフは5名体制とされている中で、塾長を含め3名が決まつてない。スタッフ確保をどのように行うのか。

地域と語る会

開催場所等は
こちら

開催地区	日にち	参加人数
八ツ田区	令和5年10月22日	12名
太田区	令和5年10月24日	15名
水沢区	令和5年10月28日	11名
石間区	令和5年10月30日	10名

○道の駅阿賀の里リニューアル 共通テーマ①

Q 議会だよりで阿賀の里の特集を組んだのはなぜか。（太田区）

A 「道の駅阿賀の里」や「株式会社阿賀の里」の状況を明らかにし、町の負担となっている現状を周知するために特集を組みました。

Q 人口が少ない中、どこから子どもが来るのか。なぜ議会は可決したのか。（水沢区・石間区）

A 現在、阿賀町には子どもが安全に遊べる場所がないと考えていました。子育て世代から、屋外は鳥獣被害が心配であり、冬や雨天時も遊べる場所がほしいと要望がありました。改修可能な場所を探す中で国の政策とマッチしたのが「道の駅阿賀の里」であり、再生にも寄与できると判断しました。

Q 総事業費4億7000万円のうち、町負担の2億7000万円は、どこからお金をもってくるのか。（水沢区）

A 過疎債といわれる借金をすると、借金額の7割が交付税として町に補てんされます。残り3割はふるさと納税の活用を考えていることです。

Q 屋内という部分はメリットと思うが、町からの明確かつ詳細な説明がないまま可決するのでは違うのではないか。はっきりしない部分をしっかりと追及すべきである。（石間区）

A サル、クマ等の問題もあり、町には子どもが自由に遊べる場所がないという、切実な声が子育て世代から寄せられていたこともり、国からの補助金獲得に向け限られた時間内で判断しました。

Q 子育て世代の保護者からは、子どもの遊び場がなく、週末は町外で遊んでいると聞く。阿賀の里リニューアル工事後の施設を、どうやって利活用していくかの討論を進めるべきでは。（水沢区）

A 利活用及び運営方法は検討中です。宣伝に力を入れるよう提言します。

Q 子どもの遊び場は運営費がかかるのでは。（太田区）

A 現在町が検討中ですが、議会からも運営費をなるべくかけないよう提言しています。

Q 子どもの遊び場に加えて子どもを対象にした自然学習探査船を作ることを提案する。イザベラバードに必要なはずの補助船としても使える。（石間区）

A 今後多くの子どもたちが川に親しめる事を考えています。

令和5年10月に開催した「地域と語る会」では、町や地域における諸問題や今後の課題について、町民の皆様から率直な意見・提言などをいただきました。このページでは、頂いたご意見、ご要望の一部を紹介します。



太田区会場

○水道会計公金横領 共通テーマ②

Q この4～5年で水道料金が増額されたが、事件の影響か。（水沢区）

A この事件の影響ではありません。

Q 横領しても返金すればよいのか。その前例を作ってしまった。（水沢区）

A 返金されていなければ議会としてもっと突っ込んだ議論ができます。

Q 水道事業会計の横領は監査でなぜ分からぬのか。（石間区）

A 提出された書類により監査を行っており、提出書類の一部である銀行からの残高証明書を偽造していたため監査では見抜く事が不可能でした。

Q 現状、水道料金が安価である三川地区を増額するのではなく、発想の転換で他3地区の料金を減額しては。（石間区）

A 膜ろ過システム導入による費用高騰等の理由になり、水道料金増額は必然となります。

Q 水道の不祥事は職員、議員の責任である。なぜもっと早く査察などを行わなかったか、もっと親身に町民のことを考えなければ良くならない。（太田区）

A ご意見ありがとうございました。

○各地区のご意見

八ツ田区(津川地域)

Q 鹿瀬地区へ行く林道が常に工事中である。
通行可能であれば便利なのだが、道路が狭く運転しにくい。

A 林道の除草をするよう進言します。

Q 将来的な過疎化に対して、ライフルラインの確保等の問題は？
2～3軒の地区でも除雪は可能なのか。

A 住んでいる方がいる限りライフルラインは必ず確保します。

Q 冬季間、八ツ田集会所は雪のため使用できない。

A 冬季間使用できないというのはあり得ないと考えます。
避難所としても使用しなければならないので、強く提言します。



八ツ田区会場

太田区(上川地域)

Q 向ノ島公園の夜が暗い。太陽光発電などで照明がつけられないか。以前は照明がついていたが現在は壊れている。防犯上も必要ではないか。

A 維持管理者の問題や、星空を楽しむため照明はない方が良いという意見もあります。
より良い向ノ島公園の使い方について、町が計画を練っている最中です。

Q 議員の数は12名から減らせないか。

A 委員会構成や広聴活動に支障があるため12名が限界です。

Q 獣害の対策は良い方法がないか。

A 町から獣害対策のチラシが配布されています。
不要な果樹を木から落とすことや、米ぬかやゴミの処理をきちんと行ってください。
その他、山へ行くときは熊避けスプレーを携帯するなど対策をお願いします。

水沢区(鹿瀬地域)

Q 阿賀の里では舟下りを行っているのか。
イザベラバード号を買った意義は。

A 川底が浅くなっているため、舟下りは行っていません。
遊覧船として使用しています。

Q 子どもの支援について十分に議論をすべきでは。

A 当町の子ども支援政策は、他市町村から羨望の的となっています。
子育て世代の就労の場が少ないことが一番の課題であると考えています。



水沢区会場

Q 物価高で肥料代、人件費も上がっている。
消費税を今までより余計に払っているのだから、町民への交付金等に使ってもらいたい。

A 町に提言します。

石間区(三川地域)

Q 限界集落が増え続ける阿賀町では、高齢者はそのまま住み続けたい方が多いと聞くが、高齢者手前の世代が移り住みやすい環境を今から準備してはどうか。

A 少人数の集落に住む高齢者の方は、そこに住み続けたいという声が多いと聞きます。今後、広範囲に及ぶ除雪費の問題等、コンパクトシティ化に向けて議論は必要と考えます。

Q 山に囲まれた阿賀町である。経済面から飯豊山を中心とした山岳観光を考えてほしい。

A 飯豊山の魅力は長野県のアルプスにも負けないと聞きます。非常に夢のある取り組みであり、山岳道路の整備等、資金投入に対する費用対効果も長期的な視点では充分期待できると考えます。



石間区会場

Q 高速バスは、白崎までではなく下条地区にも停まってほしい。

A 現在は、高速道路4車線化実現に向け、三川インターチェンジの利用率を上げるため白崎停留所までとしています。

○議会から

今回の「地域と語る会」は、テーマを「阿賀の里のリニューアル」と「水道事業会計公金横領事件」に絞り、チラシを全戸配布しました。また、区長さんの声掛けもあり、各会場では10人以上の方から来場を頂きました。

2つのテーマ以外にも地域の問題や日頃の疑問など、多くのご意見、ご提言をいただきました。
今後も活発な議論ができる「地域と語る会」を開催し、皆様の声を町政に反映させていきますので、開催希望の地区は、議員や議会事務局へご連絡ください。

町民の皆様も「地域と語る会」に積極的にご参加くださいようお願いします。

議会からホットな情報紹介

トピックス



三川・温泉スキー場

今シーズンも安全祈願祭から12月24日のオープンに合わせる様に積雪があり順調にスタートしたかに思えたものの、その後の降雪に恵まれずにまさかの12月28日から一時閉鎖！「一生懸命営業中!!」の大見出し案も没に。

県道からのスキー場入口の看板も新しくなり、新たなコーヒーショップもオープン！と期待感があっただけに、今後の降雪に期待するのみ！



12月18日 安全祈願祭
お客様の無事故を祈る



リニューアルした新看板でお出迎え

オープン初日のお客様の声

- ①リーズナブルで利用しやすい、新潟の友人宅を宿に毎年訪れています。（埼玉 60代）
- ②通い始めて3～4年になります。妻は1月、2月のレディースデーに毎回来ています。
(新潟市東区 年少 小3の4人家族)



新潟市東区の4人家族

川口区 杉崎ファミリー

今シーズンから、「ロッジ小栗沢」を一部改装して通年営業でコーヒーショップをオープン。ショップ裏手の雪が積もった水田をキャンプ場として貸し出す予定もあるそうです。

今後もスキー場を含めて、阿賀町の自然を生かした様々なアイデアを形にしていきたいとキラキラした目が印象的なお二人でした。





はじめにご主人の波田野和洋さんにお話を伺いました。

Q 家族のご紹介をお願いします。

A 私達夫婦、私の両親と息子が3人です。中学3年生と小学1年生が双子です。中学生の息子が3歳の時、同居を始めました。

おばあちゃんに伺いました

Q 家族円満の秘訣を教えてください。

A お互いにあまり干渉せず自由にしています。

おかあさんの拡子さん伺いました。

Q 双子さんのお世話は大変ですか。

A おにいちゃんが弟たちの面倒をよくみてくれるます。夫も私も夜、仕事でいない時は、宿題をみたり寝かせてくれるんですよ。

Q 阿賀町での生活や子育てをしての感想は。



元気いっぱいの双子ちゃん

A ごはんがおいしい。自然豊かで温泉もたくさんあるのがよいです。子育てはファミリーサポートがあつたら助かります。

※ファミリーサポートとは契約により子育てのあ手伝いをしてくれるサービスのこと

Q 息子さんに伺いました。阿賀町はどうです

A 自然があり、外でのびのびと遊べるのがよい。阿賀町に何があつたらよいか。

A ゲームセンターなど遊べる場所もあつたらしい。

予定

○内容

○期日 3月5日(火)～3月15日(金)
2月27日の議会運営委員会にて決定

3月定例会議のお知らせ

皆様の傍聴、視聴をお待ちしています。

議会広報通信簿

アンケートにご協力を願います。

今号よりレイアウトを変更しました。
感想をお寄せください。

アンケートはこちらから



スマホで簡単アクセス
左の二次元コードからアンケートへお進みください。
(アンケートは匿名です)
いただきました内容は、今後の編集に活かしてまいります。

皆さんのご意見提言をお待ちしています。どんどんお寄せ下さい。

【阿賀町議会】TEL 0254-92-3112/FAX 0254-92-5725/メールアドレス gikai@town.agi.lg.jp

広報広聴常任委員会



新しい年が明けて、日本中がお祝いムードの時、発生した能登半島の地震は甚大な被害をもたらしました。死者数は200人を超え、家屋の倒壊や火災による延焼、津波の被害など行方不明者も多く未だ被害の全容が見えません。その翌日には日本航空機と海上保安庁の航空機が衝突する事故が続きました。平穏な生活がいつ悲惨なことになるかわかりません。日々生きていらざることに感謝し、この地震災害と航空機事故で亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。議会よりはこの75号から大幅に紙面構成を変えました。読んでみての感想を議会にお寄せください。
(長谷川眞)

編集後記

町のホームページでも本会議の会議録が閲覧できます。ご活用下さい。

<https://www.town.agi.niigata.jp/>